

平成26年度鎌ヶ谷市献血推進協議会 会議録

開催日時：平成27年3月17日（火） 13：30～14：20

開催場所：総合福祉保健センター4階会議室

出席者

委員

堀江直茂会長、武藤智恵子副会長、川崎幸子委員、渋谷将重委員、
豊田朋二委員、三浦弘委員

千葉県赤十字血液センター

末吉和夫副部長、松戸義仁推進一係長

関係者

藤田次男

事務局

菅井健康増進課長、西山主幹、本間副主幹、富永主査

欠席者

三橋昭子委員

傍聴者 なし

議題

1. 平成26年度献血事業実績について
2. 平成27年度献血事業実施計画について
3. その他

(事務局)

それでは、さっそく議事に入らせていただきますが、本会の議長は、鎌ヶ谷市献血推進協議会設置要綱第5条によりまして、会長が務めることとなっておりますので、会長に議事進行をお願いいたします。

(堀江会長)

早速、お手元の会議次第に基づき、議事進行させていただきます。

「会議録署名人の選任について」ですが、事務局説明願います。

(事務局)

会議録署名人は、後日、事務局で本日の記録を作成いたしますので、その確認をお願いするものです。

慣例ですと、名簿順としており、今回はご出席者の中で、豊田委員と三浦委員をお願いしたいと存じます。

(堀江会長)

皆さんいかがですか。

(一同)

異議なし

(堀江会長)

それでは、豊田委員と三浦委員にお願いします。

また、会議録については概要記載か、一言一句記載か、また、発言者名の記載はいかがいたしますか。事務局から説明してください。

(事務局)

これまでの会議録は概要を記載し、発言者名を記載しておりました。

(堀江会長)

皆さん今までどおりでよろしいですか。

(一同)

異議なし

(堀江会長)

では、そのように事務局で会議録の作成をお願いします。

それでは、議事に入りますが、この会議の公開について、事務局より説明してください。

(事務局)

「鎌ヶ谷市における審議会等の会議の公開に関する指針」に基づき、法令または条例の規定により会議が非公開とされる場合を除きまして、原則公開となっておりますので、当会議におきましても、原則公開とさせていただければと思います。

(堀江会長)

皆さん、よろしいですか。

(一同)

異議なし

(堀江会長)

事務局、本日は傍聴の希望はありますか。

(事務局)

傍聴希望者はおりません。

(堀江会長)

それでは、早速、お手元の会議次第に基づき、議事進行させていただきます。

議題1. 平成26年度献血事業実績について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

平成26年度献血事業実績として、鎌ヶ谷市主催事業実施状況及び事業所等主催事業実施状況については、資料のとおりです。その結果、献血区分別実施状況は、200ミリリットル献血については実績人数101人、400ミリリットル献血については実績人数484人、合計585人でした。今年度の実績につきましては、委員および関係団体皆様のご協力により、前年度と比べ、110人増加させることができました。

なお、平成24年度、平成25年度も載っておりますが、平成26年度につきましては、2月末現在の実績となっております。同様に同じ保健所管内の習志野市、八千代市の実績も2月末現在となっております。参考資料として、千葉県内各市町村の2月末現在の献血状況をつけさせていただきました。

今年度の献血の取り組みを報告させていただきます。

平成26年9月28日は、イオン鎌ヶ谷ショッピングセンターを会場として実施予定でしたが、防災訓練の日と重なったため、調整の上、イオン鎌ヶ谷ショッピングセンターでは防災訓練の催し物、市役所正面ロータリーで献血を実施いたしました。これにより、単独での開催よりも多くの方に献血にご協力いただけたことができました。

市役所が会場である日は、事前に庁内職員に献血への協力を庁内LANでお知らせをし、献血当日は、血液センターの職員と市職員が各課へ出向き、ご協力のお願いをいたしました。

(血液センター)

千葉県の献血状況について、平成25年度、平成26年度の状況をご報告いたします。

まず、平成25年度の献血受入状況ですが、千葉県内献血者数は、延べ24万3,378人でした。対前年度9,750人の減という状況です。目標につ

きましては、24万9,202人でしたので、目標に対して97.7パーセントでした。

月別献血者の推移ですが、棒グラフで平成24年度、平成25年度の比較を示しております。平成24年度よりも若干下回っているという状況です。

年代別献血者の推移ですが、20歳代、30歳代が、千葉県では右肩下がりになっており、特に30歳代は、平成23年度から大きな右肩下がりとなっております。今後、献血者の確保にあたって、大きなウエイトを占める年代であり、憂慮されるところです。

厚生労働省から2020年までの計画が出ておりますが、将来の献血者確保ということで、特に若年層の献血者の増加が大きな目標とされています。

全国の赤血球製剤の在庫の推移ですが、平成25年度は2月の大雪の影響が出て、少なくなっておりますが、平成26年度は、2月と3月が、平成25年度より上回っております。平成26年度は、在庫的には、安定しておりました。平成27年2月7日にNHKの報道番組で献血が取り上げられ、その反響もあったと考えられます。

次に、千葉県内の平成26年度の計画ですが、目標は24万8,580人で平成25年度と比べ622人少ない人数としたところです。この目標に向かい、事業を実施してきたところですが、赤血球の千葉県内供給の状況は、7月、10月、12月、1月については、献血量より、供給量が上回っていました。7月につきましては、赤十字社で全国的に新しい献血受入システムを導入した関係で、システム上の不具合や職員の不慣れもあり、受入体制に支障があったということで、計画通りの採血ができなかったというものです。

10月は、台風の影響がございました。天候に左右されるという傾向については、1都3県、関東甲信越も同様で、この時期の献血者確保は非常に厳しかったということがあります。

12月、1月のマイナス部分については、逆に供給要望量が年度計画よりも非常に増えたことによるものです。

しかし、4月から2月まで、トータルで見ると、平成26年度につきましては、約6200単位、200ミリリットル献血で6200本、400ミリリットル献血でいえば3000本強のプラスが出ており、お陰様で自県自給が図られるような状況となっているところです。

平成27年度計画につきましては、千葉県の献血協議会で承認いただき、各市町村に数値目標を示したところですが、今後ともご協力をお願い致します。

(堀江会長)

どうもありがとうございました。ただいまの説明に対し、何かご質問がございましたらお願いいたします。

(三浦委員)

聞き漏らしたのですが、季節がいいのに、10月にマイナスというのは事情があるのでしょうか。

(血液センター)

今年度は、10月6日台風18号、14日台風19号接近ということで、計画通りのバス稼働ができなかったというところが大きな原因であると思います。

(堀江会長)

天候による理由が大きかったということですね。
その他、何かありましたらお願いします。

(豊田委員)

鎌ヶ谷市の事業所での実施状況で、病院で実施しているものがありますが、多く献血をしていただいていると思いましたが、どのような方が、献血してくれているのでしょうか。また、どのくらいの時間で実施するのでしょうか。

(血液センター)

主に病院職員の皆さんです。午前または午後の半日ですが、午前中は診療等で職員の方の時間が取れませんので、午後の方が多いかと思います。
医療従事者であるので、協力率は高いかと思えます。

(堀江会長)

その他、何かありましたらお願いします。
ないようであれば、私から1つ、献血事業の状況で不適というのがありますが、不適の原因で多いのは何でしょうか。

(血液センター)

献血者の安全確保と輸血用血液の安全確保ということで、一定の基準で、検査をしています。不適となる原因は、血液の濃さが低い、薬を飲んでいるなどであるかと思えます。

(堀江会長)

ありがとうございます。
その他、何かありましたらお願いします。

(藤田氏)

献血は、何ミリリットルが多いのですか。

(血液センター)

千葉県の献血状況では、バスで献血していただく全血献血の種類は、200ミリリットル献血と400ミリリットル献血です。医療機関は、患者さんに輸血される血液の95パーセント以上は400ミリリットル献血の血液を要望しています。一方、献血受入の方は、平成26年度では83パーセントが400ミリリットルで残りが200ミリリットルという状況です。

医療機関が400ミリリットルを希望するところに、200ミリリットルを使ってもらっているというのが、実情です。

西日本では、400ミリリットルでの協力が99パーセントという状況になっております。できれば400ミリリットル献血をお願いしたいというところ です。

(堀江会長)

血液を混合しないという現場からの要望があるということですね。

(血液センター)

輸血後の副作用を考えると、2人からより1人からというできるだけ少ない人数の方がよいということです。

(堀江会長)

その他何かありますでしょうか。

なければ議題1については承認といたします。

次に、議題2.平成27年度献血事業実施計画について事務局から説明をお願いします。

(事務局)

平成27年度献血事業実施計画(案)をご覧ください。

鎌ヶ谷市主催事業実施計画につきましては、移動採血車の稼働を考慮し、表のとおり計画を立てました。

平成27年度は、耐震工事のため実施していなかった産業フェスティバルでの再開、イオン鎌ヶ谷ショッピングセンターでの回数の増加を見込んでおります。

今後も厳しい状況が続くことが予想されますが、新規開拓できないかの検討もしながら、でき得る限りの工夫をしてまいりたいと思っておりますので、関

係の皆様方のご協力をお願いいたします。

(堀江会長)

ただいまの説明に対し、ご質問等ありましたらお願いします。

(藤田氏)

5月から12月までに12回実施するということですね。

(事務局)

はい。

(堀江会長)

他にないようでしたら、議題2については承認といたします。

次に、議題3. その他に入りますが、委員の皆様、この際是非にということがありますでしょうか。あればお願いします。

事務局、何かありますか。

(事務局)

現委員の任期が平成27年7月29日までとなっておりますが、期日前に委員の交代等が生じた場合には、鎌ヶ谷市健康増進課までご連絡くださいますようお願いいたします。

平成27年度のご協力につきましては、実施時間の調整が済み次第、各協力団体へ後日、確認の連絡をさせていただきたいと思っております。なお、当初日程の変更が生じたおりには、お手数ですが各担当者の方に速やかに連絡願います。

(堀江会長)

他になければ、以上で本日の会議を終了いたします。

皆様、ありがとうございました。

以上、会議の経過を記録し、相違ないことを証し署名する。

平成27年4月22日

署名人 三浦 弘

署名人 豊田 朋二